

第3分野 地域における男女共同参画の推進

【基本認識】

- ・ 少子高齢・人口減少の問題から、若い女性の都市部への流出に近視眼的に捉われている印象を受けます。経済の都市一極集中がそのままでは、地方からの流出は止まりません。地域においては、持ち家はありますが、生活保護を受けられない低年金による単身女性の貧困も見逃すことのできない問題です。
- ・ 女性よりは地方にとどまったりリターンしたりする率の高い男性についても、「家」を守るという固定観念が働いている側面があるかもしれません。男性も女性もアンコンシャス・バイアスから解放されて、自分の生き方を自由を選ぶことが肝要です。また、「女性の活躍推進」を地方の労働力確保のツールに貶めてはなりません。
- ・ アンコンシャス・バイアスをなくして、女性が生き生きと参加できる地域社会をめざす全般的方向には賛同しますが、それを実際に行うための具体策(ポジティブアクションを含む)が不十分と感じます。

＜施策の基本的方向と具体的取組＞

2. 農林水産業における男女共同参画の推進

農業分野における女性登用が謳われて久しいですが、遅々として進んでいません。目標設定や仕組みづくりはもちろんのこと、ポジティブ・アクションの導入が不可欠です。

3. 男女共同参画の視点に立った気候変動問題等の環境問題への取組の推進、および 4. 地域活動における男女共同参画の推進

- ・ 女性は既に環境問題を含む地域活動に大いに参画し、多くを担っていますが、指導的立場につく例は限られます。特に自治体や地域コミュニティに紐づく活動で責任ある立場を均等に分け合うには、目標を設定し、ポジティブ・アクションを取り入れることが必要です。
- ・ 性別役割分業意識に基づく慣習や慣行の是正には、幼児教育・学校教育・社会教育の充実と、そのための教員教育が求められます。また、男性の意識改革に向けて、男女共同参画センター等の公的機関が率先して地域に出向く講座を実施するなど、積極的な取り組みを求めます。

＜その他＞

- ・ 原子力発電所や核廃棄物処理施設などの危険を伴う施設は、人口密度の低い地方辺境部に多く立地されています。女性の性と生殖の健康と権利に直結する放射能災害を防ぐ観点から、これらの誘致・稼働・廃炉などに関して、女性の声が検討・決定のプロセスに十分反映されることを求めます。これは、女性差別撤廃委員会による日本の第7回及び第8回合同定期報告に関する最終見解のパラグラフ37で勧告されていることと関連があります。
- ・ 同じく女性の安全に深くかかわる軍事基地についても、周辺住民、とりわけ周辺に住む女性の声が十分に聞かれるシステムが不可欠です。